

2020年10月8日

学校長様
教員各位

京都高等学校社会科学研究会
会長 毛戸 祐司

2020年度 秋季研究会のご案内

秋冷の候、皆様方には日々ご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃は当研究会の活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

2年後の2022年4月から地歴科・公民科の新しい科目である「地理総合」「歴史総合」「公共」が始まります。来年のはじめごろには新しい教科書が出揃い、2021年度1学期には採択のはこびになろうかと思えます。

今回、京都高社研では、皆川雅樹先生をお招きして新しい教科書にもとづいて地歴科・公民科の授業をどのような形でおこなっていくか、授業をつくっていく上での目指す方向と必要な手法についてお話していただこうと考えています。

皆川先生は、長年高校で日本史を教えられ、アクティブラーニング型の授業実践を積み重ねてこられました。現在は大学で現代日本の歴史、国際関係史、学びに関する様々な方法論などを教えておられます。高校と大学の両方の現場をよく知る立場からこれからの高校地歴・公民科（社会科）教育のあり方と課題についてお話をさせていただきます。

2年後にせまった新科目の開始に向けてよりよい授業ができるよう、多くの先生方とともに幅広く情報交換、意見交流をしていきたいと考えます。

下記の要領で秋季研究会を開催しますのでご案内申し上げます。どうぞふるってご参加ください。

<記>

テーマ：新しい授業実践をめざして

- (1) 日時：11月1日（日） 14：00～17：00
- (2) オンライン（ZOOMを使用）でおこないます。配信元は立命館宇治高校（本研究会役員・杉浦真理）です。開始10分前からアクセスできます。申し込み先は次頁をご覧ください。
- (3) 内容
 - ①講演：皆川雅樹 先生（産業能率大学）
「「問い」にもとづく授業づくりの可能性～教師の「問い」と生徒の「問い」～」
 - ②授業実践報告
川島啓一 先生（同志社高校）
「SDGs目標5「ジェンダー平等の視点」を組み込んだ高校世界史の実践～
「歴史総合」におけるジェンダー史学習のカリキュラム一覧表を発表して～」
小林孝由 先生（京都市立紫野高校）
「SDGsを軸としたソーシャルアクションの創出に係わる授業実践～レゴブロックで生徒の「思い」を可視化する」
 - ③新カリキュラムに関するアンケートの依頼と趣旨説明

(4) 日程 11月1日(日)

14:00 開会

14:00~15:20 ①講演と質疑応答

15:20~16:00 ②授業実践報告


(休憩)


16:10~16:45 皆川先生のコメントと討論


16:45 新カリキュラムに関するアンケートの依頼と趣旨説明

17:00 終了予定

<参加のお申し込み>

 対象：会員ならびに中高・大学・予備校など教員の方

 参加を希望される方は、立命館宇治高校・杉浦真理 (sugiura@ujc.ritsumei.ac.jp) まで、所属・フルネームを記載して、10月22日(木)~10月29日(木)までにお申し込み下さい。メール確認後、当日の ZOOM 会議の URL、ミーティング ID とパスコードを、いただいたメールアドレスにお知らせします。

 その他の連絡先：京都高等学校社会科研究会事務局 庄司春子宛
〒606-8558 京都市左京区岩倉大鷲町 89 同志社高校気付
TEL: 075-781-7121 / FAX: 075-781-7124

【講師紹介】

皆川雅樹先生は、1978年生まれ。産業能率大学経営学部准教授。専修大学文学部、同大学院文学研究科博士課程終了、博士(歴史学)。専修大学附属高校教諭を経て現職。主著『日本古代王権と唐物交易』吉川弘文館、『アクティブラーニングに導く KP 法実践』共編著、みくに出版など。清水書院の教授用資料『Research』に「授業探訪」を執筆、掲載中。全国の社会科の先生を訪ね、ユニークな授業を紹介し、その授業方法を分析している。

2019年12月に皆川雅樹・梨子田喬・前井修一編著『歴史教育「再」入門ー歴史総合・日本史探求・世界史探究への“挑戦”ー』清水書院を出版。新しい授業のかたちを模索する全国の数多くの高校教員たちの実践報告と大学教員による論考を一冊にまとめた。